

(様式1・小学校用①)

令和5年度 学校評価報告

草加市立長栄小学校

(令和6年2月6日作成)

1 学校教育目標	
○学校教育目標	よく考える子・思いやりのある子・たくましい子
○目指す学校像	笑顔あふれる長栄小
○学校経営方針	児童一人ひとりを大切にし、学びに向かう力・豊かな心・たくましく生きる力をはぐくむ学校の実現
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
(1) 指導力向上 (2) 家庭・地域との協働 (3) 子供と向き合う時間の確保 (4) 学びの保障	成果 ○幼保小中・幼保小・小中連絡協議会を計画的に開催し、相互理解を深め、一貫した教育を推進することができた。 課題 ●児童の実態に応じて学力向上プランを見直し、授業改善に生かしていく。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○働き方改革の理念の下、教職員の意見を反映させた校務分掌組織づくりを行った。 ●共通理解・共通行動、報告・連絡・相談等の凡事徹底
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○長栄小授業スタンダードや学力向上プランを見直したことで、授業改善だけでなく、次年度以降の足掛かり期となった。 ●児童・教職員の実態に合わせた研修の計画・実施。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○家庭と連携し、適切な保健指導を行ったことで、むし歯治療率が向上した。 ●再編した危機管理マニュアルの周知・徹底
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○適切に情報管理を行ったことで、個人情報漏洩等の事故がなかった。 ●教職員が一体となった学校内の施設設備の管理。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○ICT支援員と連携し、学校ホームページをリニューアルした。 ●地域・保護者・学校が一体となったPTA活動。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	A	○小中相互授業参観を行い、相互理解を深めた。 ●目指す15歳の姿を目指した教育活動の充実。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事の開催時期や開催方法について見直しを行った。 ●学校ウェルビーイングを目指した教育計画の立案
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上プラン（全教科）を改編し、授業スタンダードをつくった。 ●主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善と授業力の向上。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「考え、議論する道徳」の授業づくりを行い、学校公開で道徳の授業を実施した。 ●いのちの教育を推進し、「自分」も「友達」も大切にする児童を育成する。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT及び中学校教員との連携を図り、授業が充実し、笑顔あふれる外国語の授業が行われた。 ●各教科、道徳教育と関連させ、更なる充実を図る。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○募金活動等、児童が主体的に活動する機会を設けることができた。 ●新しい生活様式に合わせて、学校行事計画を立案・実践する。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○教科横断的な指導計画を立案し、実践した。 ○外部人材を積極的に活用して授業を展開した。 ●年間指導計画を具体化する。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○『長栄小学校のやくそく』や指導方針を整え、生徒指導組織体制を強化した。 ●あいさつや廊下歩行等の基本的な生活習慣の低定着。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学級活動（3）の授業やキャリアパスポートの活用を通して、キャリア教育の充実に努めた。 ●教科横断的に啓発的経験を充実させ、自己肯定感を高める。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭との面談を適切に実施したことで支援の充実を図ることができた。 ●学校全体の特別支援教育の充実に向けて、研修等を通して特別支援教育についての理解を深める。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動推進プランへの取組によって、学校図書館の貸出冊数が増加し、児童が本に親しむようになった。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の中でタブレット等を積極的に活用することができた。 ●タブレットを活用する際のルールを整え、児童の情報モラルを高める。
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育や夏季休業中の校内研修を通して、人権教育への理解を深めた。 ●人権感覚育成プログラムの実施等、人権について学ぶ環境を整える。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	「新田中学校区の目指す15歳の姿」の育成	目指す15歳の姿の実現に向け、幼保小中の交流・連携を充実させる。	A	○インフルエンザや新型コロナウイルス等で活動が制限されたり中止されたりすることもあったが、その都度代替案等に対応し、可能な限り交流・連携を実施した。 ●持続可能な交流・連携の計画立案
	学力向上	各学力・学習状況調査結果を考察し、授業改善を図る。	A	○全国・県学力・学習状況調査結果から、学年ごとの児童の実態を調査し、2学期以降の授業改善に生かした。草加市学力・学習状況調査では大きく開いていた自治体平均との差を縮めることができた。 ●学校全体として算数科の授業改善・学力向上
	読書活動の推進	読書活動推進プランの取組を通して、児童の読書活動を充実させる。	A	○中・高学年を中心にビブリオバトルに取り組んだことで、貸出冊数が増加し、校内の読書活動が盛況なものとなった。 ●読書活動の充実を継続させることができるよう更なる手だてを講じる。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- 児童の実態に即して学力向上プランを見直したことで、長栄小学校授業スタンダードを確立するための一助となった。次年度以降、研修等を通して長栄小学校授業スタンダードをより強固なものとする。
- 安心・安全な学校生活のため、「長栄小学校のやくそく」と指導方針についての共通理解を図った。思いやりのある児童を育てるために組織的な生徒指導を行った。

6 次年度の改善策

- 研修や会議等を通して授業スタンダードを強固なものとして、児童の学力向上を目指す。
- 「長栄小みんなのやくそく」や学習環境等を整え、児童の実態に合った指導を行い、「自分」も「友達」も大切にする児童を育成する。
- 働き方や児童の実態・体調面等を考慮しながら、地域・家庭の思いや願いにこたえた学校行事(運動会等)を実施する。